

町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

9人の議員が町政を問う

川上 力

- 大規模災害時における住民の対応力強化
- 環境問題
- 外国人の定住など
- 汚水管損傷事故

荘子 敏一

- 町費負担教員制度を学力向上に寄与するために改正せよ
- 新たな土曜日講座などを開講せよ
- 障がい者スポーツに関する教育委員会の今後の取り組み

福井 和義

- コミュニティスポーツ大会の実施

松岡 高志

- 松伏町の教育改革
- 防犯灯のLED化
- 自治会活動の活性化
- 町北部へのバス路線の整備

佐藤 永子

- 空き家対策
- 県道の安全管理・対策

鈴木 勉

- 遊歩道の安全・防犯対策及び利便性向上に向けた施策の実施
- 高齢者の健康づくりと介護予防事業の拡充

佐々木ひろ子

- 産前産後ケア事業の取り組み
- 学校教育の充実に向けて

吉田 俊一

- 町北部地域の高齢者や交通弱者のための公共交通問題をどのように打開するのか。
- 町民まつりなど町の行事開催に合わせて、臨時バスの運行を
- 集中的な降雨・内水対策として、八間堀悪水路の整備、管理の充実を

広沢 文隆

- 障がい者の通所施設およびグループホーム、入所施設の建設を
- 長宮地域に「子どもの遊び場」「高齢者の広場」を



川上 力 (公明党)

Q 大規模災害時における対応力強化

A 県送水管利用で応急給水装置導入

問 災害発生時に住民がいち早く、水を調達できるように取り組むべきと考えるがどうか。

答 **総務課長** 県送水管を利用した応急給水装置の導入を進めて行く予定で、埼玉県企業局と設置基数や場所を調整していく。

問 越谷市のような公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業は有効な手法と考えるがどうか。

答 **環境経済課長** 災害時の避難所としての機能強化、子供たちへの環境教育に役立つこと等があり、大変参考になる事業、導入については調査研究していく。

問 中間処理場の中・長期的な課題と早急に取り組むべき課題はどのようなものか。

答 **環境経済課長** 本年6月に松伏町中間処理場整備検討委員会を設置し、7月には第1回検討委員会を開き調査・研究に入っている。シルバー人材センター作業員の休憩室にエアコンを設置した。今後、給水栓を中間処理場東側に増設すること、簡易水洗トイレへの変更をしていきたい。

問 汚水管損傷事故の調査報告書に対する町の対応はどうか。報告書を再発防止に活かすことを望む。

答 **まちづくり整備課長** 町が4割、設計者が5割、施工者が1割という責任割合で決着したことは適正であると判断。調査報告書などを使用して会場内の研修会の開催について検討していく。





莊子 としかず (新自民クラブ)

Q 教育支援員制度を代えたらどうか

A 財政負担が大きすぎるので無理だ

問 町費負担教員の労働条件と職務内容はどのように決めてあるのか。

答 教育総務課長 時間単価は1000円、職務内容は学級担任とのチーム・ティーチングにより学習指導の補助を行なっている。

問 各学校では、学習指導の補助にとどまらず、いろいろな場で力を発揮しているのではないか。

答 教育総務課長 学校長の指示により、学校行事や学級・学年事務の補助、補習の支援などで力を発揮している。

問 日頃の働きは、時給1000円が妥当とは思えないが、どのように考えているか。

答 教育総務課長 時給1000円は町の臨時職員取扱要綱に基づき適正だ。

問 行田市採用の教員は、補助教員ではなくクラスを担任し、少人数学級を実施している。松伏町とどう違うのか。

答 教育総務課長 本町の教育支援員は時給による賃

金で、あくまでも学習を補助する立場で、教員免許の有無も問わない。行田市の市費教員は市町村費負担教職員制度を活用している。この制度では、一般の教員と同じように担任も受け持つことができ、主に学習指導をおこなうことができる。教員免許を所持していることが採用の条件だ。

問 教育支援員制度から市町村費負担教職員制度に変えた方が、学力向上に寄与できるのではないか。

答 教育総務課長 現状では、財政上慎重にならざるを得ない。教育支援員の配置人数や適切な配置を研究していく。



求人環境が好転し、人材の流出が心配だ



福井 和義 (無所属クラブ)

Q コミュニティスポーツ大会の実施

A スポーツ的な大会は難しい

問 日本人の平均寿命、男性が初めて80歳を超えた。女性は86.6歳で2年連続長寿世界一となった。しかし、長寿であっても病院や介護施設に入院しては、楽しさも半減する。高齢になっても、健康な体を保持するには、スポーツが必要である。また、2020年は、東京オリンピック、パラリンピック、日本中の誰もがスポーツに関心をもって。今でしょ、幼児から百歳まで参加するコミュニティスポーツ大会の実施は。

スポーツを通じた町民の交流、コミュニティスポーツ大会について、どの様に考えているのか。

答 町長 まちづくりの基本はコミュニティーづくりである。町でもそういったコミュニティーづくりの1つとして、今まで町民まつりに精力を傾けている。

そこで、町民まつりの形の中に、スポーツ的要素を取り入れたものができるか検討したい。現時点では、スポーツ的な大会は難しいが、町民との一体感が持てる何かをやりたいと考え、実行委員会で計画を練っている。

今後、町民まつりの形を変えつつ、できる範囲で

スポーツ的要素も取り入れたものを研究していきたいと思っている。



元気いっぱい小学校の運動会



松岡 たかし (自民の会)

Q 21世紀にふさわしい教育環境を

A 実践例や情報を収集し、研究する

問 保育園や子育て支援センターなどの学校外施設や学校の放課後、土曜日での英語教育の実施を。

答 **教育総務課長** 課外活動での英語教育の実現は予算等で難しい。教育課程での英語教育は学習指導要領の改訂を見て、推進に努める。今後も指導体制の強化を重点に、英語教育の充実を推進する。

問 道徳教育により荒れた学校が再生し、学力も上がったとの報告がある。また、国の教育改革として、道徳の教科化が推進されている、町の考えは。

答 **教育長** 松伏中学校での実績があり、道徳の授業の手本とするところは目の前にあると思っている。道徳の教科化は、賛成であり、重要視している。国の動向を今後とも注視していきたい。

問 自治会活動の活性化について、抜本的な解決策は。

答 **総務課長** 自治会は自治会員による主体的な活動を行っている。町が自治会運営にどのように関与するかは、自治会の自発的機運の醸成が必要。町としては、引き続き、自治会が継続的に存続できるよう側面的な支援を行っていく。

問 東埼玉道路の開通と同時に、新バス交通システムを導入して、町北部の新たなバス路線の整備を。

答 **企画財政課長** 全国的には導入実績もあるが、東埼玉道路の事業計画では、バスの専用道路が想定されていないので、国との協議が必要。町としては国の事業形態等の検討動向を注視していく。



中学校の体育祭

佐藤 永子 (自民の会)

Q 空き家対策で安心・安全な町を

A 迷惑空き家対策の条例を制定する

問 全国の空き家が820万戸にのぼり、埼玉県は10軒に1軒の割合で空き家になっているとのこと。松伏ではどうか。

答 **総務課長** 住宅・土地統計調査は5年ごとに行われ、松伏は5年前の調査で450戸で4.2%です。

問 町では空き家対策にどのように対応しているのか空き家を活用して地域の活性化やコミュニティーの維持・再生を図り、又空き家を除却して防災・防犯の予防を図ってはどうか。

答 **環境経済課長** 空き家対策として雑草や害虫の駆除・環境問題・防犯・火災等の防止のため、関係各課が連絡調整を密にして対応している。店舗などの空き家を地域コミュニティーの場として利用しているケースもあり、町として参考にしたい。

問 早急に解決すべき空き家に対するの対応は。

答 **町長** 迷惑な空き家は条例を制定し対応する。

問 県道中井松伏線の田島地区の交差点から70m先の道路上で昨年10月死亡事故がありました。清水用

水が暗渠から開渠になった場所です。町が管轄しているが道路は県道である。事故防止の対策は。

答 **まちづくり整備課長** 県道の安全管理や交通事故対策は県の管轄となる。

答 **町長** 田島地区は東埼玉道路が来る地域です。総合的に土地利用を見直す考えでいる。

住みよい街





鈴木 勉 (無所属クラブ)

Q 遊歩道利用の県道横断安全確保を

A 必要な対策を県に要望していく

問 遊歩道を利用する際は、県道を横断しなければならない。弥生橋バス停付近は、横断歩道が設置されたものの近くの樹木が見透しを遮っている。また、下赤岩バス停付近は県道が右曲線となっていることから見透しが悪く、極めて危険な状況にある。樹木の剪定・伐採や下赤岩バス停付近の横断歩道や手押し信号機の設置が必要ではないか。

答 **総務課長** 樹木の剪定及び雑草の刈り払いを県総合治水事務所に依頼した。下赤岩バス停付近の安全対策は、県土整備事務所及び吉川警察署へ必要な対策を要望していく。

問 ふれあい橋南側河川敷内の休憩スペースにおいて、バイクの乗り入れや花火などルール違反の心配がある。ルール厳守の周知徹底や防犯対策、護岸の転落防止の対策は。

答 **まちづくり整備課長** 河川管理者の県と調整しながら必要に応じて所要の対策をしていく。マナーが悪くなった際は、注意喚起の看板設置やバイク乗り入れ防止策をとっていきたい。防犯リスク軽減の環境整備に努めていく。

問 遊歩道の案内表示看板や距離表示、ベンチの設置などが必要ではないか。

答 **まちづくり整備課長** 国の補助メニューの都市再生整備計画事業を活用し、県と調整しながら整備していきたい。



県道横断が危険な下赤岩バス停付近



佐々木 ひろ子 (公明党)

Q 産前・産後ケア事業の創設を

A 訪問支援を研究している

問 出産は、女性にとって人生最大の事業である。心身に大きな負担がかかるため十分な休養とサポートが必要であるが、親の高齢化などにより、十分な支援が受けられないケースがある。国は、「妊娠・出産」包括支援モデル事業を推進しているが町の対応はどうか。

答 **福祉健康課長** ケアが必要な妊婦に、電話や訪問、母親学級などを実施。産後には鬱にならないよう不安を和らげる取り組みを実施。また、訪問支援を研究している。

問 ホームスタート事業も以前に提案しているが産前産後ケア事業として有効ではないか。

答 **福祉健康課長** 浦安市では、家庭訪問型子育て支援ホームスタートとしてNPO法人が取り組んでいる。越谷市もNPO法人。吉川市では、子育て支援センターでホームスタートよしかわ推進協議会が取り組まれている。

問 土曜授業の推進と地域の豊かな社会資源を活用した授業を実施してはどうか。

答 **教育総務課長** 土曜授業の必要性を認めている全国の市町村は11%という結果である。近隣の動向を見極めながら、国県の動向を一層注視する。

問 タブレットを使って予習中心の授業をしてはどうか。9割が楽しくわかりやすいと知っている。

答 **教育長** 効果はあると思うが優先順位をつける。



吉田 俊一 (日本共産党)



Q 北部地域の公共交通問題の打開を

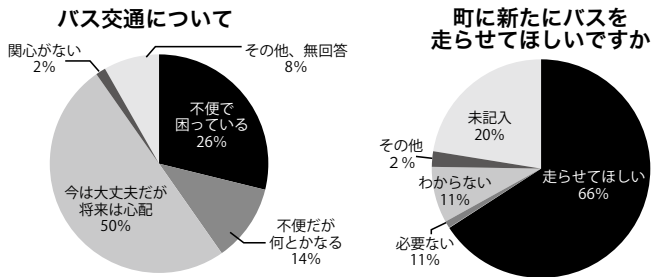
A デマンドバス等、対策を研究する

問 町北部地域のみなさんと、バス交通のアンケートに取組みました。不便で困っている人は26%、今は大丈夫だが将来は心配という人は50%でした。町に新たにバスを走らせてほしいという方は66%という状況です。高齢者や交通弱者への、バス交通や公共交通対策は大変急がれる課題です。町として対策や研究がどのように行われているのか。

答 **企画財政課長** 高齢者や交通弱者に関する公共交通問題は重要課題の一つとして認識している。町内バス網の充実にむけ、バス事業者と意見交換を行っている。

問 既存バス路線からの延伸等の充実は、実現すれば前進であるが、不採算路線からの撤退の流れが大きくなっている。民間事業者で解決できない問題は、町としての研究を進める必要がある。各地でデマンドバスや福祉バスが運行され、また東京大学研究グループにより安価なデマンドバスのシステムも開発されている。町として研究を進めるべきではないか。

答 **企画財政課長** 民間事業者と協働体制をとって、民間活力を活用することを基本に、デマンドバスあるいは福祉バスの動向についても研究する。議員から紹介された、東京大学でのコスト減の研究、国の新たな対策など含めて研究していきたい。



広沢 文隆 (日本共産党)



Q 知的障害者等が安心できる施設を

A 情報提供や働きかけを行い整備を

問 町の知的障害者と施設入所者はどのくらいか。

答 **福祉健康課長** 手帳所持者200人、入所は23人。

問 県全体で、定員枠を超えた入所の希望者は908人。松伏町近隣3施設は定員枠150人に希望者287人。毎年、障害者も入所希望者も増え、施設不足だ。

答 **福祉健康課長** 国は入所者数を減らす方針。新たな施設建設は無理だ。

問 特別支援学校の卒業生も増加の傾向であり、受け入れる通所施設が必要だ。また、いろんな理由で通えない子が出てきている。民間団体が施設を計画する上で一番困っているのが「土地の確保」だ。町は、社会福祉法人、医療法人、NPO法人から「グループホームを整備したい。バックアップしてほしい」と求められた場合、どう支援するのか。

答 **福祉健康課長** 町には、グループホームの施設整備のための補助制度はない。

問 保護者や関係者の、「民間に頼り切るのではなく、町が中心になって、社会福祉協議会や社会福祉事

業団の設立などで施設の設置に取り組んでほしい」との強い要望に応えるべきだ。

答 **福祉健康課長** 社会福祉法人やNPO法人に、情報提供や働きかけを行い、整備を促進していく。

二つ目の主題で、長宮地域に「子どもの遊び場」「高齢者の広場」を、取り上げました。

グループホームの設置状況

平成26年7月31日現在

	設置数	定員数
松伏町	0	0
春日部市	18	91
越谷市	11	53
草加市	5	54
三郷市	11	61
八潮市	2	26
吉川市	0	0
(計)	47	285